

資料3 評価対象課題の研究内容と評価結果（概要）

研究課題	3	重要な絶滅危惧植物を存続させるための技術開発に関する研究（H29-R3）
研究目的・背景	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（種の保存法）」の指定種から、繁殖技術が確立されていない種の保護や苗生産法の開発に取り組む。	
研究内容	<p>○対象種の現状調査：対象植物の調査（平成29～令和3年度）</p> <p>○技術開発に関する研究：技術の開発試験（平成29～令和3年度）</p> <p>○評価：実用試験・とりまとめ（令和元～令和3年度）</p>	
評価結果	<p>○総合評価 A（4人）・B（1人）・C（0人）・D（1人）</p> <p>○総合意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常に難しい状況の中での研究であるが、多角的に研究手法を検討して頂き、よりよい成果を期待する。 ・成果が見られており、今後も情報発信が望まれる ・概ね研究は順調に進行していると判断された。 ・研究を継続し、絶滅からの回避を期待する。シカの食害対策として早池峰地域の希少種について範囲を広げ取り組みを進めていただきたい。 ・重要な絶滅危惧植物を存続させるための技術開発に関する研究は、緊急・重要性が高く、総合的な評価はA評価と考える。 	
センターの対応方針	<p>1 研究計画のとおり実施 2 一部見直しの上実施</p> <p>3 計画再考 4 中止</p> <p>絶滅の危機にある野生植物を守る重要な研究であると認識しており、高度な培養技術力が求められる中、着実に成果を収めている。</p> <p>また、緊急性の高い研究として国等からの要請も強く、これまで蓄積してきた技術を活用して絶滅回避を実現させていきたい。</p> <p>なお、研究に当たっては、国等との連携により研究者相互の情報共有も図りたい。</p>	

※ 記載欄は適宜調整（拡張）してください。